

令和5年度（2023年度）公共事業再評価調書

（様式3）

		基準年月日		令和5年8月1日	
調書番号	08-04	所管部	建設部	作成責任者	建設部土木局河川砂防課長 上前 孝之
				担当係	河川計画係（内）29-323

I 基本事項（基準日時点）

事業種別	大規模特定河川事業費、広域河川改修事業費（社会資本整備総合交付金）				
ふりがな 地区名	とねべつがわ 利根別川	市町村名	岩見沢市	総事業費	36,120 百万円
負担割合	国	66.7%	道	33.3%	市町村
	24,080 百万円		12,040 百万円		その他

事業目的・目標	●利根別川は、石狩川水系幌向川に合流する一級河川で、S41年(1966年)8月の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生した。 ●このため、S42年(1967年)より利根別川、支川東利根別川の河川改修事業に着手。 ●その後H24年(2012年)9月の洪水により、利根別川の既採択区間の一部及び支川の南利根別川、東利根別川において、家屋浸水など多大な被害が発生したため、利根別川及び東利根別川の治水計画の見直しを行うとともに、東利根別川の計画区間の延伸、南利根別川の改修に着手。 ●また、利根別川流域における市街地の一貫した治水安全度を確保するため、支川ポントネ川の改修に着手。 ●堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行い、岩見沢市8条西1～23地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止する。				
	【アウトカム】等 ●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある家屋数 8,486戸→0戸 ●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある農地面積 806ha→0ha				

事業概要	利根別川は、幌向川合流点から16.0kmの区間、支川の南利根別川は利根別川合流点から1.4kmの区間、その他の2河川を含む合計23.6kmの区間について、堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大、及び遊水地の設置を行うものである。	工事費内訳	計画流量 Q=300m <sup>3</sup> /s⇒270m <sup>3</sup> /s (支川南利根別川Q=60m <sup>3</sup> /s)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
			計画延長 L=22,900m⇒23,600m	前回評価	今回評価	増減額
			築堤工 L=8,510m	5,567	8,309	2,742
			掘削工 L=22,900m⇒17,840m	5,195	3,393	△ 1,802
			護岸工 L=36,013m⇒24,543m	6,054	6,246	192
			遊水地工 N=0基⇒3基	0	1,164	1,164
			附带工事 道路橋27橋等⇒26橋等	5,474	5,756	282
			測量設計費 調査・設計	6,804	8,089	1,285
			用地補償費 用地買収・物件補償	2,916	3,163	247
			計	32,010	36,120	4,110

総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名
		生活・安心	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服	大規模自然災害対策の推進（強靱化）

特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【計画名：北海道強靱化計画 P28】 (河川改修等の治水対策) 河道の掘削、築堤、放水路、ダム、遊水地の整備などの治水対策について、近年の大雨災害等を勘案した重点的な整備を推進する。
	関連する指標	-

II 公共事業評価経過

(単位：百万円)

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
							15,131	5,044			
事前評価又は当初	S42(1967)	S42(1967)		H14(2002)							
前回再評価	S42(1967)	S42(1967)	H30(2018)	H45(2033)			32,010	10,670		20,409	64%
今回評価			R5(2023)	R15(2033)	(56)		36,120	12,040	1,569	26,972	75%

変更理由・内容(概要)	(1) ポントネ川において、遊水地計画への変更による設計費・施工費の増額及び計画延長の増額。 (2) 利根別川において、上記に伴う施工延長の減による減額。 (3) 南利根別川において、軟弱地盤対策による施工費の増額。 (4) 利根別川において、樋門の耐震化による設計費、施工費の増額。 (5) 東利根別川において、護岸工の仮設費増等に伴う設計費・施工費の増額。 (6) 東利根別川において、軟弱地盤対策に伴う橋梁架替工事の設計費、施工費の増額。 (7) 資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による増額
-------------	---

III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	● S41年(1976年)8月 浸水被害が発生(浸水面積222ha、浸水家屋24戸) ※岩見沢市全体 ● S50年(1975年)8月 浸水被害が発生(浸水面積1,620ha、浸水家屋1,299戸) ※利根別川、南利根別川、東利根別川、ポントネ川 ● S56年(1981年)8月 浸水被害が発生(浸水面積311ha、浸水家屋395戸) ※利根別川 ● H24年(2012年)9月 浸水被害が発生(浸水面積75ha、浸水家屋62戸) ※利根別川、南利根別川、東利根別川
2. 事業検討の経緯(住民ニーズの把握等)	● S40年(1965年)4月 利根別川改修工事促進期成会の結成。岩見沢市より道に河川改修の要望 ● S42年(1967年)4月 改修事業に着手 ● H24年(2012年) 岩見沢市より道に支川を含め市街地の治水安全度を向上させる河川改修の要望 ● H26年(2014年)4月 南利根別川、ポントネ川を含め当該計画区間の治水計画を見直した改修に着手

3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 岩見沢市8条西1～23地区などの市街地及び農地 氾濫防止面積1,482ha（うち農地806ha）、浸水防止家屋8,486戸</li> </ul>
------------------	---

4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費（百万円）	事業内容

**IV 事業の実施状況**

1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画														
	施工（工種）区分	工事内容	S42~	H12	30	R1	2	3	4	5	6	~	15	進捗状況	事業費（百万円）
	築堤工	L=8,510m	←			L=8,470m						←	L=40m	72%	8309
	掘削工	L=17,840m	←		L=13,011m	（暫定L=3,350m）						←	L=4,829m	75%	3393
	護岸工	L=24,543m	←		L=15,026m	（暫定L=3,350m）						←	L=9,517m	78%	6246
	遊水地工	N=3基							←			←	3基	35%	1164
	附帯工事	道路橋26橋等	←			道路橋20橋						←	道路橋6橋等	80%	5756
	測量設計費	調査・設計	←									←		78%	8089
	用地補償費	用地買収・物件補償	←									←		73%	3163

(2) 進捗状況  
利根別川は旧幾春別川合流点までの掘削工及び全区間の橋梁工が完成しているほか、旧幾春別川合流点より上流の暫定整備が完了。事業は概ね予定どおりに進捗しており、今後の事業実施にあたっては、特に大きな支障となるものはない。

**a** a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。  
c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。

2. 事業効果	経済効果の内訳（百万円）		費用の内訳（百万円）		備考 ●「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省R2(2020))に基づき算出 ●効果及び費用は、R5(2023)に現在価値化し、「整備期間+事業完了後50年間」で算出 ●効果は、洪水氾濫における直接被害額(家屋、公共土木施設、農地等)及び間接被害額(営業停止被害等)により年平均被害軽減期待額を算出 ●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる
	項目	R5現在	項目	R5現在	
	洪水被害防止効果	1,295,247	建設費	182,631	
			維持管理費	123	
	合計(B)	1,295,247	合計(C)	182,754	
	B/C	前回は再評価年度 : H30年度 前回は再評価時B/C : 6.72 (合計(B) : 874,245 合計(C) : 130,135) 変更理由 :			
	R5現在	●事業費の増額に伴う費用の増加 ●治水経済調査マニュアルの改定に伴う便益算定方法の見直しによる効果の増加 ●効果及び費用をR5(2023)に現在価値化したことなどによる。			
	7.09				

3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組内容	縮減額（百万円）
	計画・設計の最適化	計画断面の最適化による事業費の縮減	138
	施工の最適化	建設発生土の有効利用（堤防盛土）	86

**V 評価**

1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本事業は、岩見沢市8条西1～23地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止するためのもの。</li> <li>● 事業着手後もH24年(2012年)9月(浸水面積75ha、家屋62戸)などに浸水被害が発生。</li> <li>● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。</li> </ul>
	<p><b>a</b> a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。</p>

2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 魚類などに配慮し、現況河床を極力保全している。</li> <li>● 現況河道を極力活かした線形や河床高とし、植生が早期に回復できる護岸工を採用。</li> <li>※ 直近の評価以降の状況変化はない。</li> </ul>
	(2) 事業推進に対する地域の動向・意向 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 岩見沢市、利根別川改修工事促進期成会から事業の早期完成に向けての要望が出されている。</li> <li>※ 直近の評価以降の状況変化はない。</li> </ul>
	(3) その他の課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 特になし</li> <li>※ 直近の評価以降の状況変化はない。</li> </ul>

3. 事業達成の見込み	事業期間が長期に及ぶものの、現状では特に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込みである。
	<p><b>a</b> a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。 c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。</p>

4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和15年度の完成を目指し、事業継続する。				
	a	a：継続	b：終了	c：休止	d：中止
	事業期間変更の有無	無	事業内容変更の有無	有	総事業費変更の有無

VI 備考	
1. 評価履歴	<p>【評価結果】</p> <p>事前評価： 再評価：平成30年度実施 評価結果：継続（変更なし） B/C：6.72</p> <p>【特記事項】</p>
2. その他の取組事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>利根別川をきれいにする市民の会と協力し、花壇の造成や植樹などを実施</li> </ul>

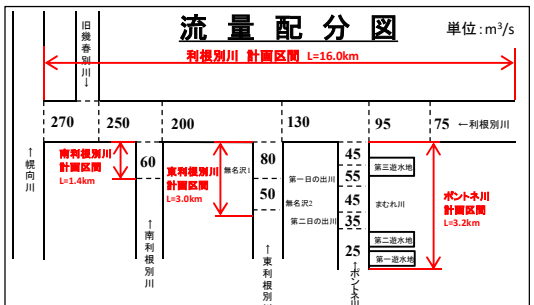
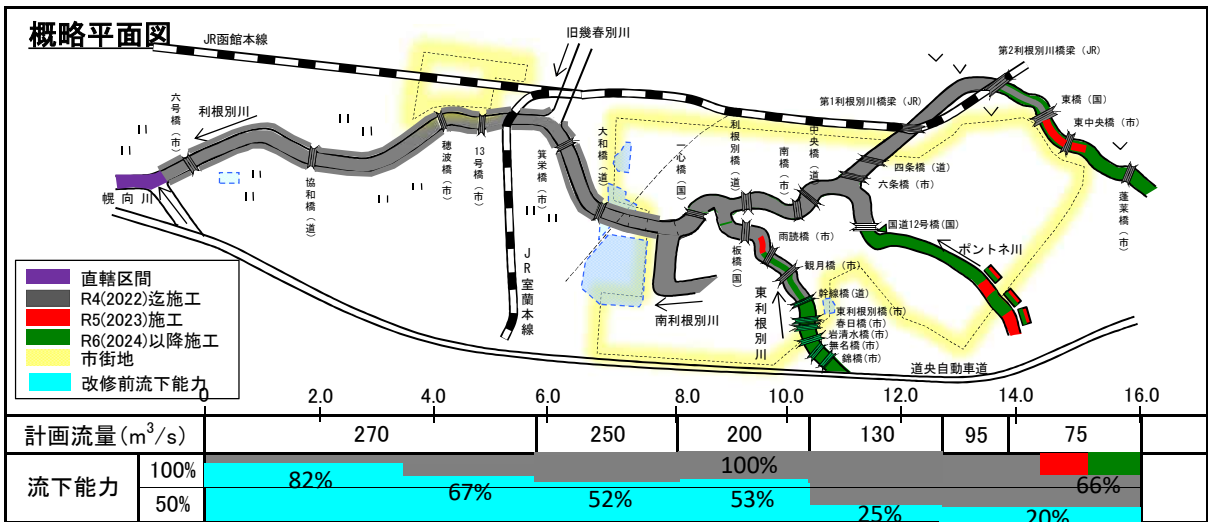
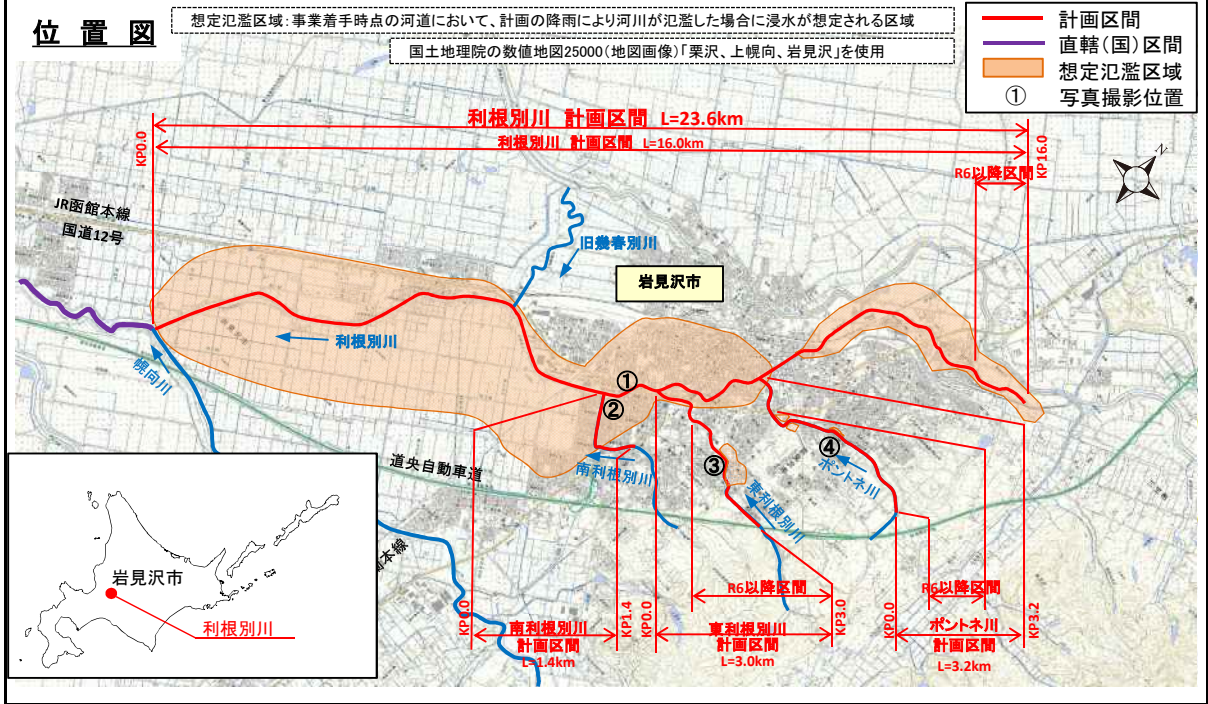
補足資料

VII 事業計画変更 (単位：百万円)

事業経過							事業費					
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定	経 過 年 数	総事業費(a)	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)	
事前評価又は当初		S42(1967)	S42(1967)			H14(2002)			15,131			
変更①	1回目				H15(2003)	H18(2006)			15,819			
変更②					H18(2006)	H25(2013)			17,700			
変更③	2回目			H20(2008)	H20(2008)	H25(2013)			17,700			
変更④					H24(2012)	H30(2018)			18,600			
変更⑤	3回目			H25(2013)	H25(2013)	H45(2033)			18,600			
変更⑥					H26(2014)	H45(2033)			30,000			
変更⑦					H27(2015)	H45(2033)			30,790			
変更⑧					H28(2016)	H45(2033)			30,990			
変更⑨	4回目			H30(2018)	H30(2018)	H45(2033)			32,010			
変更⑩					R3(2021)	R15(2033)			32,516			
変更⑪	5回目			R5(2023)	R5(2023)	R15(2033)	56	36,120	1,569	26,972	75%	

変更理由・内容	<p>変更①：事業費の精査による。</p> <p>変更②：軟弱地盤対策が必要な延長が伸び、また一部区間で対策工法が変更になったため、事業費及び事業期間を変更。</p> <p>変更④：事業費の増～他事業からの流用土が築堤盛土材として適さなかったことから、購入土に変更したことなどによる。</p> <p>事業期間の延伸～事業費の増額に伴い残事業の施工期間を精査したことなどによる。</p> <p>変更⑥：事業費の増～利根別川工区の治水計画の見直し、東利根別川工区の治水計画の見直し及び改修区間の延伸、南利根別川工区、ポントネ川工区の改修事業を追加したことによる。</p> <p>事業期間の延伸～事業費の増額に伴い残事業の施工期間を精査したことによる。</p> <p>変更⑦：事業費の増～南利根別川工区において、地質調査の結果に基づく軟弱地盤対策費の増、計画断面の最適化(2割→5分)による用地補償費の減などによる。</p> <p>変更⑧：事業費の増～危機管理型ハード対策としての堤防天端舗装を追加したことによる。</p> <p>変更⑨：事業費の増～資材、労務単価の上昇などによる。</p> <p>変更⑩：事業費の増～ポントネ川において、遊水地計画への変更による設計費・施工費の増額及び計画延長の増額。利根別川において、上記に伴う施工延長の減による減額。南利根別川において、軟弱地盤対策による施工費の増額。</p> <p>変更⑪：事業費の増～利根別川において、樋門の耐震化による設計費、施工費の増額。東利根別川において、護岸工の仮設費増等に伴う設計費・施工費の増額。東利根別川において、軟弱地盤対策に伴う橋梁架替工事の設計費、施工費の増額。資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による増額。</p>
---------	--

事業名	大規模特定河川事業費 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	利根別川	採択年度	S42 (1967)
-----	--	-----	------	------	---------------



河川名	利根別川	南利根別川	東利根別川	ポントネ川
流域面積(km <sup>2</sup> )	43.6	4.3	5.6	5.6
計画延長(km)	16.0	1.4	3.0	3.2
氾濫面積(ha)	1445.4	23.9	4.6	8.2
計画雨量	48mm/hr	48mm/hr	48mm/hr	48mm/hr
計画高水流量(m <sup>3</sup> /s)	270	60	80	45
計画勾配	1/2000~1/380	1/500~1/125	1/260~1/100	1/350~1/50

